

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【公表番号】特表2005-526737(P2005-526737A)

【公表日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2005-035

【出願番号】特願2003-572535(P2003-572535)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/00 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

D 0 6 P 3/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 7/13

D 0 6 P 3/08

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年2月20日(2006.2.20)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0059

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0059】

酵素を使用して酸化を行ってもよい。この場合、酵素は、酸化性パー化合物を生じさせること、および少量で存在する酸化剤の作用を強化することの両方に使用しうる。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0065

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0065】

本発明によれば、カチオンおよびアニオンの両方に芳香族基を含有する四級アンモニウム化合物が苦味成分として極めて好適である。1つのそのような化合物は、ベンジルジエチルー（（2,6-キシリルカルバモイル）-メチル）-アンモニウムベンゾエートであり、それは、例えばBitrex（登録商標）およびIndigestin（登録商標）の商品名で、商業的に入手可能である。この化合物は、安息香酸デナトニウムの名称でも既知である。